

中国語母語話者と日本語母語話者による依頼表現にみられる
意味公式の対照研究

A Comparison of the Semantic Structure of Request Formulas between
Chinese Native Speakers and Japanese Native Speakers

趙 丹楠

ZHAO Dannan

キーワード

中国語母語話者 日本語母語話者 発話行為 依頼表現 談話構造 意味公式

要旨

本研究は、中国語母語話者と日本語母語話者の依頼発話行為について、負担の度合いが軽度な「3千円を借りる」と重度な「5万円を借りる」という2つの場面を基に、被依頼者への負担度の度合いにより、日中依頼表現がどのような影響を受けるかを検討した。また、談話構造の相違点を調査し、両言語の依頼発話行為について、発話パターンを明らかにする。

目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. 目的
4. 調査方法
5. 結果、及び考察
6. 終わりに
7. 参考文献

1. はじめに

日本語母語話者が中国人日本語学習者と接触する場面で、中国人日本語学習者には日本語を文法的に正しく使用する言語能力はあるものの、母語とは言語文化が異なるため、日本人母語話者の意図を理解することが困難であり、適切な表現を使用できない可能性がある。

そこで、本研究では、日本語母語話者及び中国語母語話者が母語で相手に依頼する際に、使用された依頼表現と両言語の発話の特徴を明らかにしたいと考える。

2. 先行研究

依頼発話行為に関する研究は日本語をはじめ、中国語、韓国語、朝鮮語、フランス語など様々がある。

グエン（2014）は日本語とベトナム語の依頼発話行為における被依頼者への負担度の軽重が依頼発話行為に与える影響を調べた。また、日本語における「本当に」「いいですか」について、言語形式から依頼者の確認要求とみなされがちであるが、実際は被依頼者に向けた感謝の意味を表することで、負担軽減であることを指摘している。この指摘は本研究の日本語母語話者の発話にも多数観察されている。

張（2013）は、日本語話者と延辺朝鮮語（中国東北部朝鮮族の話す言葉）の母語話者の依頼発話行為を比較対照した。また、依頼発話パターンの分類に意味公式を使用する。

以上2点の先行研究からは、日本語母語話者と中国語母語話者の、被依頼者への負担度の異なる依頼が、依頼発話行為にどのような影響を与えるのかはまだ明らかにはされていない。

また、張（2013）の分類表は、依頼者と被依頼者の発する意味公式を分類する基準となるべき、厳密な表現が使用されていない箇所があったため、表現を改め、本研究の例を添えて、本研究では、より厳密な意味公式の分類ができるように努めることとした。

3. 目的

本研究の目的は、日本語母語話者と中国語母語話者の依頼発話行為における談話構造の類似点、および相違点を調査し、両言語の依頼発話行為についての発話パターンを明らかにすることである。その比較対照を通して、中国人日本語学習者と日本語母語話者の接触場面における誤解を回避し、円滑なコミュニケーションに寄与し、ひいては中国人日本語学習者の依頼表現を指導する際に役に立つことを目的とする。

4. 調査方法

4.1 協力者

本研究では、研究協力者として日本語母語話者、中国語母語話者を対象とする。日本語母語話者10名（男性1名、女性9名）と中国語母語話者10名（男性4名、女性6名）である。年齢は日本語母語話者が20歳から22歳まで、中国語母語話者は21歳から27歳までの20代の大学生である。日本語母語話者と中国語母語話者はそれぞれ5組ずつ分け、親疎関係は親しい友人関係に限定をする。

4.2 方法

本研究では、依頼相手にかかる負担の度合いが、依頼者と依頼相手の交渉につながる過程を見ることを研究目的にしているため、ロール・プレイを採用した。ロールカードには依頼者と依頼相手の役割、場面状況を記述し、日本語版と中国語版の2種類を用意した。

依頼発話行為に影響を与える負担度は軽度・重度を設定し、各条件に振り分けて、録画した後で、すべて文字化を行った。出現した依頼表現を、構成要素（意味公式）別に抽出・集計し、使用頻度、および展開パターン別に分析・考察した。

2つの負担度について、軽度は依頼相手に大学の新学期のテキストを買うことになり、手持ちのお金が足りなくて、3千円を借りるという設定であり、重度は両親からの仕送りが10日ほど遅れ、家賃の支払いの期限が迫り、5万円を借りる依頼である。

4.3 データの分類に使用する意味公式

本研究の発話パターンの全体像を俯瞰するには張（2013）の分類が適していると考えた。しかし、張（2013）の分類表は、厳密な表現が使用されていない箇所があったため、表現を修正し、本研究の例を添えて、より厳密な意味公式の分類ができるように努めた。以下は修正した後の分類表である（表4-1、4-2参照）。

また、被依頼者が依頼を受け入れた際に、依頼者から発せられる、一見、情報確認を思われる「マジで」「いいの」「本当に」などの表現は、グエン（2014）が指摘しているように、日本語の依頼発話行為においては、依頼者が被依頼者に対して示す配慮表現となっている。従って、本研究では、張（2013）の分類表から、その区分を論理型のA2-4情報要求・確認要求から、負担感論理型A4-7に移し、負担軽減に分類した。なお、分類では本研究のデータより採取した。

表4-1 本研究で用いた発話データ分類に用いた、依頼者の発話に見られる意味公式（張2013に基づき、本研究データの分類に合わせて筆者が修正した）

ストラテジーの型	発話機能タイプのストラテジー		分類例
A1：主張型 依頼者に行ってほしい依頼事項を単に伝える	1	直接依頼： 被依頼者に直接的に頼む	<ul style="list-style-type: none"> ・お金を貸してくれない？ ・你先借我3000。(3000円貸してよ)
	2	間接依頼： 被依頼者に間接的に頼む 懇願 不受容 提案 提案要求 前置き	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。 ・买啊、当然买啦。不过我差3000块钱。(買うよ、もちろん買うよ、でも、3000円足りないの。)
A2：論理型 自分の置かれている状況や依頼行為の必要性を理解してもらうために置かれている情報を	3	状況説明： 自分の状況、様々な情報を説明する	<ul style="list-style-type: none"> ・この教科書月曜日使うんだけど、今日は買わないとどうしてもいけなくてさあ、 ・我明天得交房租。(明日家賃を支払わなければならないんだよね。)

説明する	4	情報要求・確認要求： 被依頼者に情報や確認を求めたりする（下記A4-7参照）	該当データなし
A3：正当型 人が持っている個人的・社会的価値を尊重、することを指摘・強要する	5	親密・依存： 極めて仲のよいこと、被依頼者に頼らなければならないと説明する	・私たち友達だろう？
	6	称賛： 被依頼者を褒め称える	該当データなし
A4：負担感関連型 相手が感じる負担を少しでも減らそうとする働き、被依頼者にも利益があることを示したり、負担をかけたことについて埋め合わせる意思を伝えたりする	7	A2-4の被依頼者への情報要求・確認要求の形式を取っているが、実際に、配慮表現である（筆者改変） 負担感の軽減： 被依頼者の感じる負担感を少しでも減らそうとする働きである 譲歩 保証 共同行為要求 低コスト表明	・マジで ・いいの？ ・真的？（本当に？） ・あの、5万円、全額じゃなくてもいいんだけど、1万円でも、どうしても、 ・もう、秒だね秒。 ・明天给你。（明日返すね。）
	8	負担感の埋め合わせ： 被依頼者の感じる負担感を償おうとする様々な働きである 補償 相手利益 謝罪	・絶対返す上に、また、ここでランチをおごろう！ ・あ～そうですね、ごめん、ごめん。
A5：对人的配慮型 相手の立場を考えたり、よい人間関係作りをする	9	配慮発話が受け止め： 被依頼者の否定的な情報を一旦受け止め、理解を示す類	・そうだよな、いや、私もさあ、すごい申し訳ないんだけどさあ、5万っていうのが。 ・（被依頼者の名前）さんも、まあ、厳しい
	10	感謝：お礼を言う	・谢谢啊。（ありがとう。）
	11	被依頼者への配慮また、相手の発話を確かめたりして、ただ繰り返して読む： 被依頼者の発話の復唱 相づち	・そうだよな。 ・よねよね！（笑） ・あ～、無理か、
A6：圧力型 依頼を強制したり、不満、批判、罵り、非難、皮肉をすることで圧力をかける	12	強要：依頼を承諾するように押し付ける加圧：被依頼者への不満、批判、非難、皮肉。自己非難と自己皮肉	該当データなし
A7：被依頼者への呼びかけ	13	呼びかけ： 依頼者が被依頼者に発話を開始する際の呼びかけ	・ねえ ・诶（なあ、）

表4-2 本研究で用いた発話データ分類に用いた、被依頼者の発話に見られる意味公式（張2013に基づき、本研究データの分類に合わせて筆者が修正した）

ストラテジーの型	発話機能タイプのストラテジー	分類例
B1：積極型 依頼に対して積極的な態度を示す発話で、依頼者の依頼に対して肯定的な評価を含む型	1 承諾：依頼を受け入れる	・うん！いいよいいよ、貸す貸す。
	2 依頼を承諾する可能性を示唆する発話	・3000円貸そっか？ ・じゃ、出せる分だけ、じゃ、出すから。
	3 依頼を承諾するために、必要な情報を要求する発話： 保証の要求	・行行行。你是10天后.. (いいよ、10日後は..) ・10日後に返してくれるってことですね。
B2：中立型 依頼に対して中立的な態度を示す発話で、肯定的でもなく、否定的な評価でもないどちらも含まない型	4 相手の発話を確認・復唱： 依頼者の発話を確認めたりして、ただ繰り返して読む	・5万啊。(5万か)
	5 詳細情報を要求・提供・確認： 依頼者に詳細な情報を求め、差し出す発話	・え、明日必要なんでしょう？ ・大概借多少？(だいたいいくらくらい？)
	6 相づち・継続・共感： 肯定的でも否定的でもなく、ただ単に話を継続させたり共感を示したりする	・嗯。(うん。) ・ヤバー ・すごいね。 ・哦。(お、)
	7 思案・曖昧： 依頼応答に思い煩ったり、不確定な発話をしたりする	・(笑) うん～、ちょっと考え.. ・どうなんだろうなあ、
B3：消極型 依頼に対して消極的な態度を示す発話で、依頼者の依頼に対して否定的な評価を含む型	8 直接的な断り： 相手の依頼に対して断りの意向を直接的に述べること	・さすが、5万円が無理かな。
	9 不利・否定的な内容を含む発話： 承諾するのに障害になる事情を伝えたり、相手の依頼に否定的な態度を示す発話をする 理由説明 不利な情報を含む発話 否定的な見解の表明	・3000円。僕も教科書を買わなきゃいけないんですけど。 ・5万はでかいから。(笑)
	10 他の解決策： 依頼を断る代わりに自分なりの他の解決案を出す 代案提示 条件提示 提案	・你找别人帮帮忙吧。(他の友達にお願いしてみてよ) ・例えば、クレジットカードを使うのはどうかな？

	11	非難： 相手の依頼に対して不満、批判、罵り、非難、皮肉をすることで依頼者が自ら依頼を退けるように仕向ける	該当データなし
	12	依頼者への配慮の発話： 依頼者の立場を配慮する発話、謝罪や残念な気持ちなどを表明	・申し訳ないけど。
B4：依頼者の配慮を表す	13	依頼者の補償に対する感謝	・ありがとう。

5. 結果、及び考察

5.1 日本語母語話者と中国語母語話者の依頼発話行為の展開パターン

5.1.1 日本語母語話者（JNS：Japanese Native Speaker）の負担度軽度の場面

日本語母語話者の依頼発話では、被依頼者への負担度は軽度の依頼場面においても、個々の状況の説明を重ねることによって、依頼者がなぜ、その依頼行為が必要であるのかを説明している。その後で、直接依頼または間接依頼を行う。また、一般には、被依頼者が依頼を承諾する前に、依頼者が返金の保証を述べて、依頼の承諾につながるケースが多いように思われる。今回の会話例では5例中、3例がこのパターンであった。

上記の会話例1-1-1にみられるように、被依頼者が依頼を受け入れやすくするために、一連の状況説明によって、被依頼者は依頼者の置かれている状況の切迫さが理解でき、依頼の承諾につながっているように思われる。また、依頼者は所持金が足りない状況を説明し、「どうしよう」と述べることにより、被依頼者への協力を求めている。つまり、間接的な依頼行為を行っているのである。

依頼承諾後の発話を見ると、依頼者が被依頼者に対して表明する負担軽減が特徴的である。被依頼者の「3000円貸そっか?」という発話に対し、「え、マジ! いいの?」、「本当に? いいの?」、「マジで、え、じゃ」のように負担軽減の形で被依頼者を気遣っている。このような表現は、グエン（2014）が指摘する通り、日本語母語話者の依頼発話行為においては、被依頼者への負担軽減するための発話であるとする。

5.1.2 日本語母語話者（JNS）負担度重度の場面

日本語母語話者の被依頼者にかかる負担度の重度、5万円を被依頼者から借りるという発話依頼行為においては、すべての会話例で、依頼者がなぜ、その依頼行為が必要であるのかを、被依頼者の置かれた依頼行為遂行の上で提示された困難な状況に理解・共感を示しながら、詳細に述べている。

依頼拒絶に対して、被依頼者は他の解決策を提示された会話があった。直接大家に問題解決の方法について、相談すべきであり、その後の結果を見て、協力できるかどうかを検討すると

会話例 1-1-1 依頼者 日本語母語話者 (JNS) vs 被依頼者 日本語母語話者 (JNS)

依頼者	あったあった、これ、これ、この教科書月曜日使うんだけど、	A 2-3 状況説明
被依頼者	うん、さっき言ってたやつわ、	B 2-6 相づち
依頼者	そうそうそう、今日は買わないとどうしてもいけなくてさあ、うお！5000円もする！	A 2-3 状況説明
被依頼者	あ〜、めっちゃ高いね、	B 2-6 相づち
依頼者	え、まじか！こんなんで、まじか、5000円か、足りないなあ、	A 2-3 状況説明
被依頼者	結構するわね、足りない？	B 2-6 相づち B 2-5 詳細情報の要求
依頼者	足りない、笑、2500円しか持ってなくて、	A 2-3 状況説明
被依頼者	え、明日必要なんでしょう？	B 2-5 詳細情報の要求
依頼者	そうそう、必要なんだよ。	A 2-3 状況説明
被依頼者	そうか。	B 2-6 相づち
依頼者	どうしよう。	A 1-2 間接依頼
被依頼者	3000円貸そっか？	B 1-2 依頼承諾の可能性
依頼者	え、マジ?! いいの？	A 4-7 負担軽減
被依頼者	うん。	B 1-1 承諾
依頼者	本当に? いいの？	A 4-7 負担軽減
被依頼者	明日必要なら、	B 1-2 依頼承諾の可能性
依頼者	マジで、え、じゃ、	A 4-7 負担軽減
被依頼者	後日返して…	B 1-3 保証の要求
依頼者	うん！返す返す！明日返すよ。	A 4-7 保証
被依頼者	うん！OK！	B 1-1 承諾
依頼者	本当にごめん、ありがとう！ありがとうございます。	A 5-10 感謝
被依頼者	うん、いいえ、いいえ。	B 2-6 相づち

いう提案、及び5万円を複数人で分担して、一人当たりの負担額を軽減するという2つの提案があった（下記会話例1-2-1 & 1-2-2 参照）。

5.2.1 中国語母語話者 (CNS : Chinese Native Speaker) の負担度軽度の場面

中国語母語話者の依頼発話では、日本語母語話者同様、依頼が必要な状況を説明し、その後、直接依頼をしているケースが5例中4例あった。

一方、状況説明の後で、間接依頼につながっている例が1例あった。被依頼者が依頼者に受講生全員が教科書を買う必要があることを確認した後、「那行、我借给你。(そうか、貸してあげるよ。)」という依頼の受け入れの発話を引き出している（下記会話例2-1-2 参照）。

会話例 1-2-1 依頼者 日本語母語話者 (JNS) vs 被依頼者 日本語母語話者 (JNS)

略 (紙幅の関係から、会話の一部を掲示)		
被依頼者	え、でも、払わ、え、なんか、大家さんに言えないの？なんか、っていうことがあって、ばたばたして、みたいなこと言えないの？大家さんにも、	B 3-10 他の解決策
依頼者	大家さんに、言いたいんだけど、ちょっとさあ、怖い人なんだよね。	A 2-3 状況説明
中略		
依頼者	もしさあ、万が一	A 1-2 間接依頼
被依頼者	万が一だったら、ちょっと、ちょっとだったら、手伝うから、	B 1-1 承諾
依頼者	本当？	A 4-7 負担軽減
略		

会話例 1-2-2 依頼者 日本語母語話者 (JNS) vs 被依頼者 日本語母語話者 (JNS)

略		
被依頼者	私も 5 万、そのまま無理だ、他の人にも声かける？	B 3-10 他の解決策
依頼者	借りられるお金を集めようかなと思って、もし、5 人いたら、1 万ずつこう、借り、そう、借りようかなと思ったけど、	A 2-3 状況説明
中略		
被依頼者	さって、そうしたら、みんな 1 万円で済むもんね。	B 2-5 情報要求
依頼者	あ、そう、1 万円ずつするから、(笑)	A 5-11 相づち
被依頼者	こっちも声をかけてみるわ。	B 3-10 他の解決策

会話例 2-1-1 依頼者 中国語母語話者 (CNS) vs 被依頼者 中国語母語話者 (CNS)

略		
被依頼者	你要买吗？(買う？)	B 2-5 詳細情報の要求
依頼者	买啊、当然买啦。不过我差 3000 块钱。(買うよ、もちろん買うよ、でも、3000 円足りないの。)	A 1-2 間接依頼
被依頼者	那行、我借给你。(そうか、貸してあげるよ。)	B 1-2 依頼承諾の可能性
略		

また、保証の要求については、日本語母語話者の発話例はほとんど (5 例中 4 例) に見られたように、被依頼者への軽い負担度に対して返金保証が一般的であるのに反して、中国語母語話者では必ずしも、返金の保証は一般的ではない。被依頼者が保証の要求を尋ねていない状況で承諾したケースが 5 例中、3 例があった。

5.2.2 中国語母語話者 (CNS) 負担度重度の場合

中国語母語話者の依頼発話では、いずれのケースでも、状況の説明は日本語母語話者と比較して、直接的で、簡潔であるように思われる。また、依頼者が被依頼者に直接依頼を使用したのは5例中4例見られた。

そして、被依頼者が依頼を引き受けられない場合に、自分には貸すことは無理で、他の人を当たってみたらという提案をした発話例が1例あった。

最後に、日本語母語話者とは異なり、依頼者が状況説明をした後、被依頼者があまり内容の詳細について立ち入らない内に、依頼を承諾したケースは5例中1例見られた。その会話例を見ると、依頼者が明日家賃を払わなければならない、5万円ほど足りないことを述べると、被依頼者から「那我先借给你呗。(じゃ、先に貸してあげるね。)」という承諾が出現している。日本語母語話者にはないこのパターンは、その後、依頼者から被依頼者への配慮表現が続いている。(下記会話例2-2-1参照)。

会話例2-2-1 依頼者 中国語母語話者 (CNS) vs 被依頼者 中国語母語話者 (CNS)

依頼者	我明天得交房租。 (明日家賃を支払わなければいけない。)	A 2-3 状況説明
被依頼者	嗯。(うん)	B 2-6 相づち
依頼者	我房租6万8、但是我现在身上就只剩下1、2万了。 (家賃は6万8000円でね、でも今は手元に1、2万円しかのこってないんだよね。)	A 2-3 状況説明
被依頼者	那我先借给你呗。(じゃ、先に貸してあげるね)	B 1-2 依頼承諾の可能性
略		

また、依頼者が保証をしたケースが1例あった(下記会話例2-2-3参照)。

会話例2-2-2 依頼者 中国語母語話者 (CNS) vs 被依頼者 中国語母語話者 (CNS)

略		
被依頼者	行行行。你是10天后.. (いいよ、10日後は..)	B 1-1 承諾 B 1-3 保証の要求
依頼者	10天、对、就。。(10日、そう、かえ..)	A 4-7 保証
被依頼者	就还给我对吧？(返してくれるってことだよ?)	B 1-3 保証の要求
依頼者	对。(そう。)	A 4-7 保証
被依頼者	那行、那你10天后就还给我就行了。 (いいよ、10日後に返すなら大丈夫だよ。)	B 1-1 承諾
略		

被依頼者にかかる負担度が重い場合、最初は被依頼者の依頼の拒絶が生まれることが一般的であり、中国語母語話者の発話においても5例中4例が拒絶であった。その後、依頼者から、あるいは被依頼者からの、被依頼者の依頼を受け入れる可能性の確認が行われ、その限度内での依頼が行われ、さらに被依頼者への返金保証がなされるパターンは日本語母語話者同様である。

6. 終わりに

本研究では、日本語母語話者と中国語母語話者の依頼発話行為における展開のパターンについて、依頼者と被依頼者が親しい友人という関係に限定をし、その依頼行為が被依頼者への負担度の軽重によりどのように発話行為に影響を与えるかを調べた。その結果、発話行為全般では、日本語母語話者は中国語母語話者と比較して、状況説明において、一つ一つの情報を、被依頼者の理解を確認しながら、述べていくのに対して、中国語母語話者の場合には、要点を簡潔に述べる傾向があることがわかった。また、日本語母語話者は負担度が軽度の場合にも、依頼者から被依頼者への返金の保証が行われるのに対して、中国語母語話者の場合には、必ずしも保証が行われるわけではない可能性があることがわかった。一方、負担度の重度の場合においては、中国語母語話者は状況説明、そして保証を申し出て、直接依頼を行っている。しかし、承諾に至る過程で、それほど詳細な説明の提供や説明の要求を求めない中国語母語話者に対して、日本語母語話者はそれを求める傾向が見られた。

今後は、中国人母語話者による依頼発話に見られる傾向が、日本語学習者としての中国語母語話者の発話にどのような影響を与えるのかを研究していきたいである。

7. 参考文献

- グエン・ティ・ニュー・イー (2014) 「依頼発話における談話構造に関する日越対照研究：依頼内容の負担度に着目して」『日本語・日本文化研究』24、pp.93-103. 大阪大学
- 張雪梅 (2013) 「日本語と延辺朝鮮語における依頼談話の展開について：談話構造とストラテジーの考察を中心に」広島大学大学院国際協力研究科